

チャッキラコ・三崎昭和館 三浦市



所在地 三浦市三崎2丁目11-3

建物概要

・構造 店蔵：木造2階建、土蔵造（一部石造）、切妻造、瓦葺

母屋：木造平屋、寄棟造、瓦葺

土蔵：木造2階建、切妻造、瓦葺

新座敷：木造平屋、寄棟造、瓦葺

建築面積 約138㎡

建築年

明治35年（1902年）店蔵・母屋

大正6年（1917年）増築 土蔵

昭和7年（1932年）増築 新座敷

管理者 株式会社三浦海業公社

（所有者小牧正子氏よりチャッキラコ展示館として借用）

交通

電車：京浜急行電鉄三崎口駅より「三崎港」、「通り矢」、「城ヶ島」行バス約20分「三崎港」バス停下車 徒歩5分

お車：横浜横須賀道路佐原IC または、衣笠IC
～三浦縦貫道より一般道で三崎港へ

明治に建てられた小牧邸はその後大正・昭和に増築されています。

屋号を「伊勢六」といい江戸時代の末期から戦前まで米・酒を扱う地元の豪商として知られています。太平洋戦争で物資統制にあい、戦後お茶や日用品販売に転じ、平成14年（2002）頃まで営業していました。

現在は、まちの活性化に寄与するために設立された第三セクター株式会社三浦海業公社がこの建物を家主の小牧家よりお借りして、三崎の伝統芸能チャッキラコに関する資料の常設展示と昭和の生活風景・歴史を伝承する施設として「チャッキラコ・三崎昭和館」を平成22年（2010）3月にオープンしました。

チャッキラコとは、毎年1月15日の小正月に豊漁・豊作や商売繁盛などを祈願する女性のみで踊られる民俗芸能の一つです。昭和27年（1952）神奈川県で初めて国の無形文化財選択、昭和40年（1965）神奈川県指定重要無形文化財に指定、昭和51年（1976）国指定重要無形民俗文化財に指定、平成21年（2009）ユネスコ無形文化遺産「代表一覧表」に記載登録されました。

（2018年9月現在）



Gallery

